



ぬかただより

岡崎市立額田図書館

春号 No. 50

2019年3月発行

桜月、花見月、^{はるおしみづき}春惜月、^{ゆめみづき}夢見月…。どれも陰暦三月の異称です。なんて素敵なきななのでしょう。陰暦でいう三月は春たけなわの頃、桜の季節です。今回は、額田地区の「桜」がつく地名のおはなしと、春の額田図書館についてご紹介します。

「桜」の地名

さくらいじ

桜井寺町

さくらがた

桜形町

額田地区

桜の形の境界線

中世～明治初旬まで、^{なのうち}名之内村、^{やないだ}柳田村、^{あそう}麻生村の三つの村に分かれていた桜形町。明治11年に合併し、桜形村に。その後、桜形町になりました。

地名の由来は、村の境界線の形が、桜に似ていたことによります。



空海が掘った？桜の井戸

桜井寺町にある桜井寺は、813年に空海が開いたと言われています。このお寺には、桜の井戸の伝説があります。

ある時、弘法大師が桜の杖を持ってこの東峰に登ろうとした時、杖で地を突き立てるとそこからこんこんと清水が湧きでてきました。その杖を清水のそばに立てて、「末法求法成就せば、枝葉を生ずべし」と唱えたといいます。やがて、その杖に芽が出て葉が出て、春になれば花を咲かせるようになったという事です。

〈桜井寺高札より〉

こうしてできた井戸が、桜の井戸、桜井と呼ばれ、お寺を桜井寺と呼ぶようになりました。井戸の上には祠があり、現在も桜井寺の裏山にひっそりと残っています。地名の由来は、この桜井寺の門前に集落が形成されたことによります。



桜井寺



桜の井戸

※『ぬかたの民話 1』AN/388/ヌ/3に収録の『井戸と桜』に、桜井寺の昔話が載っています。

図書館でお花見！

閲覧席から眺める景色は、春がおすすめです。

桜の開花時期には、窓の目の前にソメイヨシノ、遠くには『おおだの森』の山桜を眺めることができます。昨年、利用者さんより「特等席だね。」とお声もいただきました。また、図書館近くには2本の四季桜があり、春と秋に可憐な姿を見せてくれます。

この春、額田図書館へ足を運んでみませんか？



四季桜



※閲覧席からの風景

●参考資料●『額田町史』額田町史編集委員会/編 額田町 AN 233/7

『角川日本地名大辞典 23 愛知県』『角川日本地名大辞典』編纂委員会/編 角川書店 291.0/カ/23

☆ おはなし会 ☆

毎月第2土曜・第3木曜 10:30~11:00

※木曜はちいさいこ(0.1.2歳)向けです。

【春の開催日】

- 3/9(土)、3/21(木)
- 4/13(土)、4/18(木)
- 5/11(土)、5/16(木)

おはなし会の
スタンプを集めると
プレゼントが
もらえるよ♪

☆ ブックスタート ☆

偶数月第1木曜 10:00~11:00

【春の開催日】

- 4/4(木)



としょかん
図書館クイズ!

ぬかたとしょかん ほんだな つか
額田図書館の本棚やカウンターに使われ
ている、岡崎原産の木の種類は何?

- ① 檜(ひのき)
- ② 杉(すぎ)
- ③ 桜(さくら)

こた
答えはおたよりの最後です

ヒント

〇〇〇風呂はいい香り…

春号のおすすめ本

YA 向け

『春や春』

森谷明子/著 光文社 F 913.6/モリ

藤ヶ丘女子高校の俳句同好会は6人。目指すは初めての大会「俳句甲子園」! 構成メンバー5人のチーム戦です。注目は、大会のユニークなルール。そのルールによって、チーム同志の駆け引きや戦術が白熱し、臨場感溢れる知的バトルが繰り広げられます。さあ、彼女たちは予選突破できるのでしょうか。

個性あふれる登場人物たちの、熱くてまっすぐな思いと全力の五七五。青春って素晴らしい! と感じる一冊です。



ちいさいこむけ

『おはなみくまちゃん』

シャーリー・パレントー/ぶん 岩崎書店 E/オ

「さくら、おはなみ…」ときたら、ニッポンの心。しかし、意外にも文と絵は外国のかたなんです。

「ふわーり! ふわーり!」たこあげしてちいさいくまちゃんたちとんでった。

さくらの花びらと一緒に、風にのって遊ぶくまちゃんたちの楽しい一日を描いた、春風を感じられる絵本です。



小学生向け

『花守の話』

柏葉幸子/著 講談社 913/カ

春休みの夜、おばあちゃんにかかってきた一本の電話。瞳子とおばあちゃんは『くらかけ山』へ向かうこととなります。ここでは、なんと鬼が待っていました。鬼は桜を守る花守。人間のいたずらにより、神様の通る桜道が途切れそうになっていたため、おばあちゃんへ助けを求めたのでした。瞳子とおばあちゃんは、その場を離れられない鬼のために、ある物を探しに行くこととなりますが…。

3月27日は『さくらの日』ということをご存知でしょうか? 3×9(さくら)=27の語呂合わせと、七十二候のひとつ「桜始開〔さくらはじめてひらく〕」が重なる時期であることから、日本さくらの会がこの日に制定したそうです。

新額田図書館は、平成30年2月13日に開館し、無事1周年を迎えることができました。これからも、咲き誇る桜のように末永く皆様に愛される図書館となるよう願っています。



岡崎市立額田図書館

榊山町字山ノ神 21 番地1 Tel.82-2953

【開館時間】9:00~19:00 【休館日】月曜日 ※祝日の場合は開館、翌日以降の平日に休館。